

匝瑳市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 千葉県匝瑳市では、市内公共交通として循環バスを運行しているが、1運行あたり所要時間が1～1.5時間と長大で利便性と効率性に課題があり、利用者数も年々減少傾向であった。
- 課題解決のため、現行の循環バスの運行ルート及び運行本数を見直して利用が多い地域に運行を集中させるとともに、バスを補完するものとしてオンデマンド型交通を導入するなど、再編を進めている。

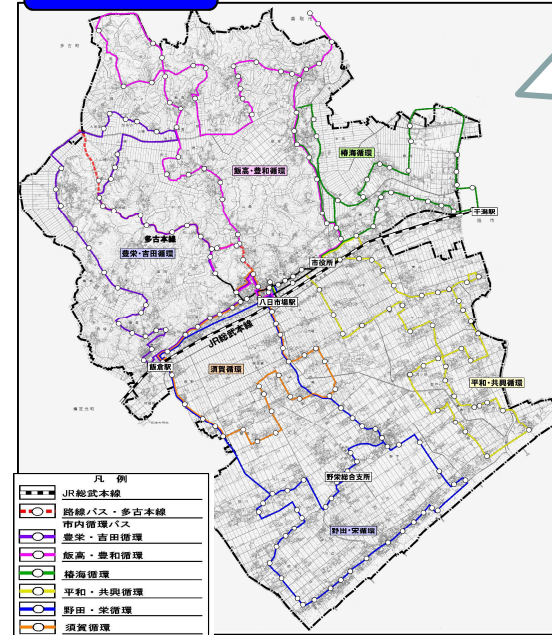
事業の内容

- ①市内循環バスの再編
民間路線バスとの重複区間の解消、利用が少ない路線のバス車両の小型化、利用が少ないバス停の廃止 等
- ②デマンド型交通の導入
市内循環バスの再編に伴う交通不便地域や停留所まで歩行困難な高齢者等への対応として、デマンド型交通を新たに導入
- ③地域交通利用料助成事業
75歳以上の自動車等運転免許を持たない方への移動支援として、タクシー利用券を交付（従来から継続実施）

事業の効果

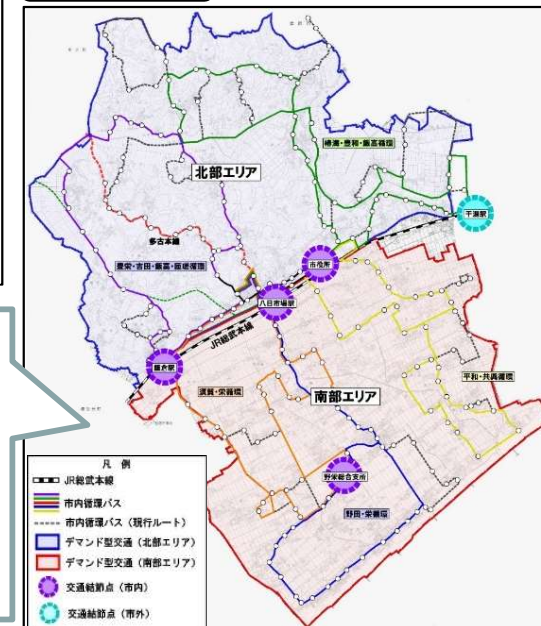
- 1運行あたりの所要時間が短縮され運行が効率化。
- 市民の目的地が集中する市内中心部の駅や商業施設等へのアクセスが改善され利便性が向上。
- オンデマンド交通の導入により、市内交通不便地域が解消され、市内中心部から離れた地域の市民の移動負担が軽減。
- 既存の地域交通利用料助成事業との併用により、対象となる高齢者は、デマンドの予約状況等により交通手段の選択が可能となり、高齢者の外出機会の増大に寄与。

これまで



○市内循環バス
・JR総武本線より北側を3路線、南側を3路線運行。市民アンケートでは利用者の満足度は低いもの、運行本数や時間帯について改善要望があり、また、運行ルートの見直しの方向性として、循環バスは利用が多い地域に運行を集中させ、その他の地域は新たな交通手段の導入を望む声が多く寄せられた。

再編後



○市内循環バス+オンデマンド型交通
・市民の声等も踏まえ、JR総武本線より北側を2路線、南側を3路線に循環バスを再編。
・オンデマンド交通を新たに導入し、区域を北側と南側に分け、予約に応じて利用者の自宅等から運行エリア内の駅等の乗降ポイントを結ぶ。
・毎年利用状況や収支状況を法定協議会に報告、運行の維持・改善を継続的に検討。

- ・作成自治体：千葉県匝瑳市
- ・実施区域：匝瑳市全域
- ・実施予定期間：令和5年4月～令和10年3月